

特殊詐欺の発生状況（平成30年中） ～認知件数・被害額ともに前年より大幅に減少！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成30年中）

- 被害認知件数は**51件**（前年比**-60件**）
- 被害総額は**約1億460万円**（前年比**-約1億4,960万円**）
- 認知件数のうち、架空請求詐欺が全体の約67%を占めている

2 平成30年12月中の認知状況

- 被害認知件数は**4件**（前年同月比**-8件**）
- 被害額は**約1,140万円**（前年同月比**-約1,880万円**）
- 手口は、
 - ◎ 振り込め詐欺 3件
 - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 1件
（その他の名目） 2件
 - ◎ 振り込め詐欺以外の特殊詐欺 1件
 - ・ 金融商品等取引名目 1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（平成30年中）

○ 認知件数、被害額ともに大幅減少！

平成30年中は、前年と比較して認知件数・被害額ともに大幅に減少しました。

しかし、有料サイトが未納であるとして、携帯電話機にSMS（ショートメッセージサービス）を送りつけ、コンビニエンスストアでプリペイド式電子マネーを購入させたり、決済代行サービスで支払いをさせる架空請求詐欺は後を絶たず、10代から70代までの幅広い世代が被害に遭いました。また、被害者に占める高齢者の割合は約半数を占め、高齢者の高額被害も相次ぎました。

「電話」や「メール」で「お金の話」が出たら「詐欺」を疑い、すぐに家族や警察に相談してください。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成30年12月中		
	男性	女性	計
～ 19	1	-	1
20 ～ 29	1	4	5
30 ～ 39	3	4	7
40 ～ 49	1	2	3
50 ～ 59	4	4	8
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	2	2	4
70 ～ 79	1	8	9
80 ～ 89	-	12	12
90 ～	-	-	-
合計	14	37	51
内65歳以上の高齢者	3	22	25

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年12月中
	件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	15
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	2
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	14
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	11
キャッシュカード受取型	3
収納代行利用型（コンビニ決済）	6
合計	51